<Internet Explorer での TLS 設定方法の参考例>

- 1 Internet Explorer $\mathcal{O}[\mathcal{Y}-\mathcal{N}]$ $\forall = 1 \mathcal{O}[\mathcal{Y}-\mathcal{N}]$
- 2 [インターネットオプション]ダイアログボックスの[詳細設定]タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ]カテゴリで、[SSL3.0を使用する]チェックボックスをオフにし、[TLS1.0を使用する]、 [TLS1.1の使用]、及び[TLS1.2の使用]チェックボックスをオンにします(使用可能な場合)。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 終了し、Internet Explorer を再起動します。

全般	セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定	
設定		
T	 セキュリティ ✓ DOM ストレージを有効にする ✓ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に書 SmartScreen フィルター機能を有効にする SSL 20 を使用する ✓ SSL 30 を使用する ✓ TLS 1.0 を使用する ✓ TLS 1.1 の使用 ✓ TLS 1.2 の使用 ✓ オンラインからの攻撃の緩和に役立てるため、メモリ保護を有効にする* ✓ サーバーの証明書失効を確認する* ✓ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する 	<
	▽ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする	
	マ ネイティブ XMI HTTP サポートを有効にする イ Ⅲ ト KInternet Evplorer の再閉(約に有効)にたります	
*	 マ ネイティブ XMI HTTP サポートを有効にする ✓ III ・ ✓ IIII ・ ✓ IIIII ・<	
*	ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする III ・ Internet Explorer の再開後に有効になります。 IF細設定を復元(R) IF細ی	
* Inter In	ネイティブ XMLHTTP サポートを有なかにする III ・ Internet Explorer の再開後に有効になります。 IF細設定を復元(R) Internet Explorer の設定を明定の状態にリセットします。 Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。	
* Inter In	ネイティブ XMI HTTP サポートを有効にする III ・ Internet Explorer の再開後に有効になります。 Iff細設定を復元(R) If細設定を復元(R) Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 Iternet Explorer の設定を認定する Iternet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 Iternet Explorer の設定を既定のtracket = 100000000000000000000000000000000000	
・ Inter In ブ	 ネイティブ XMI HTTP サポートを有効にする ■ ■ ■ ■<!--</td--><td></td>	

<Chrome での TLS 設定方法の参考例>

- 1 Chrome の[設定]→[ネットワーク]項目から[プロキシ設定の変更]をクリックします。
- 2 [インターネットのプロパティ]→[詳細設定]タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ]の中の、[SSL 3.0 を使用する]のチェックをオフにし、[TLS 1.0 を使用する]、[TLS 1.1 の使用]、及び[TLS 1.2 の使用]にチェックします。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 終了し、Chrome を再起動します。

※「SSL3.0」を無効化すると、「TLS」に非対応のサイトのご利用ができなくなる場合があります。 ※パソコンや携帯端末の設定や詳細につきましては、各社サポート窓口などにお尋ねください。